

福島県家庭教育応援企業等推進活動報告書

企業名	菅野建設工業株式会社			
実施項目	* 取り組まれた活動に○を付けてください。			
	項目	実施に○	具体的な取組	
	職場の家庭教育推進			従業員に、家庭教育に関する資料等を配付した。
				従業員に家庭教育に関する学習会等を開催した。
				従業員に「家族の日」や「家庭の日」を普及・啓発し、家族の団欒の日として、職場の行事等への実施を控えるように努めた。
	生活習慣を向上させる取組			従業員の家庭において、子どもが早寝、早起きをし、親子で朝ごはんをとるように働きかけた。
				従業員の家庭において、子どもが早寝、早起きをし、親子でラジオ体操や運動を行うように働きかけた。
	学校行事への参加促進			従業員が参観日等の学校行事に参加することができるように働きかけた。
				従業員が休暇を取りやすい職場の雰囲気作りに努めた。
	職場見学・体験の実施			従業員の子どもの、親の働く姿を見せたり、親の仕事を体験させたりした。
		○		地域の子どもたちに、従業員が働く姿を見せたり仕事を体験させたりした。
	学校との協働活動			学校の環境整備活動に参加した。
				学校に出向き、子どもたちの学習（社会科・総合・学級活動等）に協力した。
				地域の子どもたちの放課後の居場所づくりや体験学習に協力した。
地域行事への協力・支援			従業員が親子で参加できる行事やレクリエーションを実施した。	
			地域の親子が参加できる行事やレクリエーションを実施した。	
			企業等が取り組む社会貢献活動に従業員が家族ぐるみで参加した。	
			子どもが参加する地域の行事等に、企業等の施設を活動場所として提供した。	
その他（ご記入ください）			子どもが参加する地域の行事等に、従業員を指導者又は運営者等として派遣した。	
			[]	

具体的な取組状況

令和4年11月17日、福島県土木部主催の小学生を対象とする現場見学会が当社の施工した二本松市下長折地内の「河川災害関連工事（護岸）【移川筋】」にて、開催されました。二本松市立原瀬小学校の5、6年生約20人が参加し、工事の現場代理人を務める松兼俊夫土木部専門技術員より工事概要の説明を受けた後、排水工を埋設する作業を見学したり、測量、ミニドローン操縦、ミニバックホー試乗などをそれぞれ体験したりしました。一連の体験の後、当社菅野社長より「建設業は、皆さんの身近なあらゆるものに関わっています。地図に残る素晴らしい仕事です。今日の体験を思い出し、建設業に興味を持っていただければ」と挨拶がありました。将来の新たな担い手として、子供達に建設業をもっと身近に感じてもらえるよう、今後もこうした活動を通じ、交流の機会を増やしてまいります。

※○を付けた取組について、具体的な内容が分かるように文章及び写真等を挿入し、記載してください。参加者の感想など、参考資料があれば添付してください。

令和5年1月24日

地元小学生による現場見学会

実施日：令和4年11月17日

